

キャラクター名
安楽 紘希/Hiroki Yasurai

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ		ワークス	フリーター	カヴァー	スーツアクター
	キュマイラ					
オプション			年齢	21	性別	男
覚醒	渴望	衝動	闘争		初期侵食率	33%
出自	貧乏	経験	永劫の別れ		邂逅	演劇

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	35
肉体	6	1	0			7	行動値	3
感覚	0	0	1			1	(非装備時)	3
精神	0	0	1			1	戦闘移動	8
社会	2	0	0			2	全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			RC			交渉		
回避			知覚			意志	1		調達		
運転:	2		芸術:			知識:	2		情報:ウェブ	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
父親	P 憧憬	N 隔意		
母親	P 憧憬	N 悔悟		
子ども達	P 慈愛	N 悔悟		
レプタゴラ	P 執着	N 脅威		
陶瓦 聖縫	P 信頼	N 恥辱		
霧谷 雄吾	P 尊敬	N 猜疑心		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
CR: キュマイラ	2	2	シンドローム	-	-	-	-	
効果: 組み合わせた判定のクリティカル値を-Lv								
完全獣化	5	6	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: このシーンの間、【肉体】の能力値を使用したあらゆる判定のダイスを+[Lv+2]個する。ただし、このエフェクトが持続している間、素手を除くあらゆるアイテムは装備、使用不可となる。								
ハンティングスタイル	1	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: あなたは戦闘移動を行う。この移動では、離脱を行なえる。また、移動中に他のエンゲージに接触しても移動を終える必要はなく、封鎖の影響も受けない。このエフェクトは1シーンにLv回まで使用できる。								
増腕	2	2	Xジェー	武器	範囲(選択)	〈白兵〉	ピョウ	
効果: このエフェクトを組み合わせた攻撃の対象を範囲(選択)に変更する。このエフェクトは1シーンにLv回まで使用できる。								
神獣撃	5	2	Xジェー	武器	単体	〈白兵〉	80%	
効果: 《完全獣化》の効果中のみ使える。このエフェクトを組み合わせた攻撃の攻撃力を+[Lv+2]Dする。ただし、このエフェクトを使用したメインプロセスの終了時に、あなたが受けている《完全獣化》の効果は解除される。								
軍神の守り	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果: ダメージロールの直前に使用する。あなたはカバリングを行う。このカバリングによって、あなたは行動済みにならず、あなたが行動済みでも使用できる。このエフェクトは1メインプロセスに1回まで使用できる。								
獣の直感	1	-	Xジェー	至近	自身	自動	-	
効果:								
獣の臭い	1	-	Xジェー	視界	効果参照	〈交渉〉	-	
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

ギリギリでいつも生きているアンラッキーお兄さん。そろそろ限界が近い。

【概要】
幼少期に両親は他界、遺産の大半は親族に奪われ、その他何かと不幸に見舞われ続けた人生を送ってきた。バイトで生計を立てており、最近は近所で公演され始めたばかりのプロセギオンのアクターを努めている。特別身体能力が高いわけでもなく演技力も並なので、彼の公演にキャラクター以上の魅力は無い。

【性格】
様々な挫折を味わいながらも、どうにか真っ当に生きようともがいている。昔の快活な姿もなりを潜め、何かと悲観的な言動が目立つ。ヒーローものは好きだったが、経験から素直に楽しめなくなっている。それでも憧れだった人を演じるのは、僅かばかりの気休めになっている……気がする